

## 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	栄養サポートチームの介入が脳神経外科患者の輸液期間および目標エネルギー量の達成時期に及ぼす影響(No.80)
研究申請者または責任者 (所属)	藤井 達也(救急・集中治療科)
研究等の概要	<p>入院患者において、経腸栄養が開始された後も維持輸液が継続され、併用期間が長期化する傾向にある。そこで、栄養サポートチーム(NST)の介入が脳神経外科患者の輸液期間および目標エネルギー量達成時期に及ぼす影響を検証することを目的とする後ろ向きコホート研究を行う。脳神経外科に入院し経腸栄養のみで管理された患者を対象とする。2023年度に通常の介入を行った16名を非介入群とし、2024年度にNSTが介入した25名を介入群後ろ向き観察研究。主要評価項目として、経腸栄養開始からの維持輸液の併用日数と目標エネルギー量の達成までの日数を両群で比較。</p> <p><b>【対象となる方】</b> 2023年4月～2025年3月の間に当院脳神経外科に入院し、経腸栄養管理を受けられた方。</p> <p><b>【研究の目的・方法】</b> NST介入が輸液期間や目標栄養量達成に及ぼす影響を明らかにし、今後の栄養管理の質向上を目的とする。過去の電子カルテ情報(栄養充足状況、輸液期間等)を統計的に解析する。</p>
個人情報の取扱い	データ抽出時に氏名・ID等の個人情報は削除し、特定の個人を識別できないよう匿名化を徹底します。
問い合わせ窓口	倫理・臨床研究審査委員会 臨床研究事務局 電話：048-665-6111(代表)